

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年03月11日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

|      |   |
|------|---|
|      | NUBIC管理番号: <input type="text" value="2011000045"/> 整理番号 <input type="text" value="11633"/> 担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>   |
| 表 題  | <input type="text" value="面状振動を得るための超音波複合振動源の開発"/>  |
| 技術分野 | <input type="text" value="電気・電子"/> <input type="text" value="機械・加工"/>   |
| 適用製品 | <input type="text" value="超音波加工機用振動源, 超音波溶接・溶着機用振動源"/>  |
| 目 的  | <input type="text" value="これまで、超音波加工、及び超音波溶接・溶着に用いられる超音波振動は、単一方向の振動であった。単一方向の振動による加工では、加工時間、加工精度が問題となっていた。また、溶接・溶着の際には方向性が生じるため、加工試料の設置方向によって、加工結果が大きく異なる問題点があった。これらの問題点を解決することにより、超音波加工、及び超音波溶接・溶着において作用効果の向上を目的としている。"/>  |
| 技術概要 | <input type="text" value="超音波振動源は一般に振動形態によって共振周波数が異なる。そこで振動形態の異なる2つの共振点を持つ超音波振動源に対し、その2つの共振周波数を加算して印加し、単一方向の振動と、これとは異なる単一方向の振動を組み合わせることで面状振動を得ることができる。本発明では、この超音波振動体を用いることにより、異種金属の超音波溶接・溶着においては、単一方向の振動と比較して、短時間で高い強度を得ることができた。また、超音波加工においても、面状振動を用いることにより、加工時間の短縮、加工精度の向上が期待されている。"/> |

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

|               |                      |       |                      |
|---------------|----------------------|-------|----------------------|
| 面談希望日時        | <input type="text"/> |       |                      |
| (ふりがな)<br>氏 名 | <input type="text"/> |       |                      |
| 会社名           | <input type="text"/> |       |                      |
| 所 属           | <input type="text"/> | 役職    | <input type="text"/> |
| 電話番号          | <input type="text"/> | FAX番号 | <input type="text"/> |
| E-mail        | <input type="text"/> |       |                      |
| 連絡事項          | <input type="text"/> |       |                      |



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp